

御幸森小学校・中川小学校 学校適正配置検討会議（第2回） 会議録

1 日 時 令和2年7月9日（木） 午後6時30分から

2 場 所 大阪市立中川小学校 多目的室

3 出席者

（委員）

足立 須香委員、川瀬 邦彦委員、菱田 享宏委員、藤原 智代委員、古田 邦一委員、
安田 宜哲委員、吉田 久恵委員

（学校）

上田 健二（大池中学校長）、高尾 祐彦（御幸森小学校長）、柿野 久（中川小学校長）

（教育委員会事務局）

山口 照美（生野区長兼生野区担当教育次長）、櫻井 大輔（生野区副区長兼生野区教育
担当部長）、花月 良祐（教育委員会事務局総務部学校適正配置担当課長兼生野区役所地
域活性化担当課長）、樋口 義雄（総務部首席指導主事兼生野区役所こども未来担当課長）、
大川 博史（生野区役所地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課
長）、川楠 政宏（生野区役所地域まちづくり課地域活性化担当課長代理兼教育委員会事
務局総務部教育政策課生野区教育担当課長代理）、竹口 一吉（学事課担当係長）、竹中
一郎（生野区役所地域まちづくり課担当係長兼教育委員会事務局総務部教育政策課担当係
長）、白石 秀一（生野区役所地域まちづくり課係員兼教育委員会事務局総務部教育政策
課係員）、西川 明宏（生野区役所地域まちづくり課係員兼教育委員会事務局総務部教育
政策課係員）

（傍聴）6名

4 議題

- (1) 通学路及び通学路の安全対策について
- (2) 校章について
- (3) 校歌について
- (4) 標準服について

5 議事要旨

(1) 行政からの説明

【通学路及び通学路の安全対策について】

（説明者：花月学校適正配置担当課長兼生野区役所地域活性化担当課長）

- ・議事資料1に沿って説明を行った。
- ・前回の御幸森小学校・中川小学校学校適正配置検討会議（以下、検討会議）において、通学路の図面資料について、最新の情報となった内容を改めて提示するとしていた。
- ・今回、従来の案に追加するものとして、議事資料1内の F（御幸橋の道路上）から G（今里筋）までの箇所について、道路の両側にグリーンライン塗装を行いたい。また、C（御幸森小学校南側）から E（今里筋）までの箇所についても、道路の両側にグリーンライン塗装を行いたい。
- ・通学路の安全対策については、引き続き建設局等と調整しており、今後、今回提示した安

全対策案に追加変更があれば、随時、検討会議にて報告を行い、令和3年4月の開校までに安全対策を実施していく。また、安全対策は、検討会議を開催する期間だけで完了とするわけではなく、大池小学校が開校後も検討する必要があるため、学校協議会の場や区役所にご意見を寄せていただきたい。

【校章について】

(説明者：花月学校適正配置担当課長兼生野区役所地域活性化担当課長)

- ・議事資料2に沿って説明を行った。
- ・前回の検討会議において、新たな学校の校章については、現在の大池中学校の校章の周囲の部分を使用し、中心部のデザインについて、行政から複数案を提示することとしていた。また、児童アンケートへの実施についてご意見をいただいていた。
- ・今回は、議事資料2のとおり、5案を提示する。学校長からの意見を受け、大池中学校と混同しないよう全ての案に「小」の表記を追加とした。
- ・今回の5案でよければ、7月中に児童へのアンケートを実施し、その結果を次回の検討会議にてお示しし、ご意見をいただいたうえで、校章を決定していきたい。

【校歌について】

(説明者：花月学校適正配置担当課長兼生野区役所地域活性化担当課長)

- ・議事資料3に沿って説明を行った。
- ・歌詞については、前回の検討会議にて、「児童が理解しやすいものにしたい」、「公募を行い、生野区にゆかりのある音楽家に作曲を依頼し、地域で手を加えながら完成させてはどうか」、「大池中学校の吹奏楽部も演奏しやすい曲が良い」等のご意見をいただき、概ね、公募を行う方向でまとまると認識している。
- ・いただいたご意見から、議事資料3のとおり、歌詞を公募する際の募集条件をとりまとめた。この条件でよければ、区役所ホームページにて公募を行い、8月の検討会議において、応募のあった歌詞の絞り込みを行いたい。

【標準服について】

(説明者：花月学校適正配置担当課長兼生野区役所地域活性化担当課長)

- ・議事資料4に沿って説明を行った。
- ・6月29日(月)に御幸森小学校・中川小学校の保護者で集まり、議事資料4のP.1のとおり、標準服に関するご意見をいただいた。また、議事資料4のP.2のとおり、学校長からも意見を受けた。
- ・いただいた保護者のご意見、学校の意見に基づき、議事資料4のP.2からP.3の項目4のとおり、行政側で標準服の提案事業者を募集する際の仕様及び提案事業者への説明会における補足説明について整理した。
- ・今回提示した内容でよければ、前回の検討会議でお示したスケジュールに沿って、区役所ホームページにて標準服の提案事業者を募集したい。9月には、各学校に標準服のサンプルを展示し、児童へのアンケートを実施する予定としており、アンケート結果については、検討会議に報告し、意見交換を行ったうえで、標準服を決定していく。
- ・保護者からいただいたご意見は、仕様書及び説明会の補足説明に全て盛り込んでいるが、通学帽の色については、保護者のご意見と、学校長の意見に相違があり、保護者からは濃

い色、紺又はグレーとご意見をいただいているが、学校長からは、安全・防犯の観点からも目立つ色、黄色などが望ましいとの意見を受けている。

- ・前回の検討会議にて、標準服の検討については、保護者が中心となり進めるということとなっていたが、事業者選定にかかるプレゼンテーションについては検討会議の場で行う方がよいか、それとも保護者が集まった場で行う方がよいかという点についてご意見をいただきたい。

【生野区における指定校変更について】

(説明者：大川地域活性化担当課長兼教育委員会事務局総務部生野区教育担当課長)

- ・現在、生野区では、小学校への新入学時に、自宅から通学区域校までの直線距離が 400m 以上あり、かつ、通学区域校よりも近い区内の学校がある場合に就学校を変更できる指定校変更基準を導入している。
- ・御幸森小学校・中川小学校学校設置協議会に入る前の段階で、この指定校変更基準を学校再編のタイミングでも適用できないかというご意見を保護者よりいただいていた。
- ・今回、自宅から大池小学校まで直線で 400m 以上の距離となる御幸森小学校に在籍する児童について、学校再編時に指定校変更を可能とする特例を設けたいと考えている。
- ・次回の検討会議にて、資料を提示する。

(2) 意見等の概要

【通学路及び通学路の安全対策について】

- ・現在、御幸森小学校区・中川小学校区ともに見守り隊が活動しているが、大池小学校の見守り隊として活動するための着用物の用意をお願いしたい。
- ・できれば、新たにできる校章が入った夏用、冬用の着用物を、中川小学校区では 50 着程度、御幸森小学校区では必要な数を用意いただきたい。予算は行政で手配してほしい。
→予算措置も含め、どのような方法があるか検討を行う。
- ・見守り活動はボランティアで行っている。ボランティアの方にお金を出して着用物を買ってくれとは言えない。
- ・通学路が変更することについて、前もって周知をしてほしいと要望してきたが、対応は可能か。
→通学路が確定してくれば、広報紙に地図等を掲載し周知していきたいと考えている。広報紙以外の手法も活用する。
- ・中川小学校区では、これまでと通学路が変わらない箇所もあると思うが、そちらについても危険箇所があれば、対応すべきではないか。再編を機に、引き続き通学路として使う道の危険箇所も注意しようと周知した方が、全員が安心できる。
→通学路の周知を行う際には、どの場所にどんな安全対策を行うかという内容についてもお知らせしていきたい。
中川小学校区についても、PTA とともに通学路の現地確認を行い、学校北側にグリーンライン塗装を行う等、いただいたご意見を反映している。

【校章について】

- ・行政案が良いと思う。これ以上に広げることも狭めることもなく、児童に選んでもらえば良い。

→今回提示した5つの案により、7月中に児童にアンケートを実施する。次回の検討会議において、その結果をお示しし、ご意見をいただいたうえで、校章を決定していく。

【校歌について】

- ・校歌の作曲は柿野中川小学校長を推薦したいと思うがいかがか。

(柿野中川小学校長)

- ・校歌の重みは非常に大きい。ご指名をいただけることは光栄であり、全力で取り組んでいきたい。皆さんに愛される曲で、各地域や生野のイメージも考え、将来的には大池中学校とひとつになることも想定し、数曲作成し絞り込んでいく形を考えている。

→作曲は柿野中川小学校長が行うこととし、作詞については、議事資料3のスケジュールのとおり進めていく。

【標準服について】

- ・御幸森小学校では通学帽はずっと茶色になっているので、黄色でなければ安全・防犯の観点から問題があるというわけではないと思う。学校長からは黄色が良いという意見だが、帽子の形等もどのように考えているのか。

→事業者への説明会の補足説明にて、キャスケット型等を提示する。事業者から様々な案が出されるよう、条件を絞りすぎず、説明で補足を行う。

(柿野中川小学校長)

- ・学校としては安全性が一番重要と考えている。現在の中川小の標準服は紺色の上下に黄色の通学帽の組み合わせとなっており反対色で目立つ。朝の通学の際も今里筋から歩いてくる姿も確認でき、防犯上は有効かと考えているが、最終的には委員の判断にて決定いただきたい。

(高尾御幸森小学校長)

- ・紺色、グレーの通学帽が悪いとは思わないが、学校として通学帽に求めるものを問われると、長く使うもので、頭を守るものであるもので、安全なものが良いとなってくる。色も黄色が代表的なもので良いのではないか。
- ・黄色が良いということだが、黄色地に、現在の御幸森小学校の通学帽の色の茶色のラインを2本入れるという提案をしたい。

(柿野中川小学校長)

- ・他校の児童と混ざった時に分かりやすいという点では、個性になるようなものでも良いのではないか。

(高尾御幸森小学校長)

- ・ファッション性も大事だが、通学帽は自ら安全性を高めることが難しい小学1年生の児童から使用する。通学帽には安全性を求めることが大事であると思う。
- ・黄色の通学帽はすぐに汚れたり、折れたりするイメージがある。黄色は黄色でも、他とは違うおしゃれな黄色にしてはどうか。区役所で用意できるコストのなかで、事業者には、従来以上に品質にコストをかけても良いこととして、関係者の思いを伝え、反映できれば良いと思う。

→現状、想定している仕様では、通学帽の色は指定していない。事業者への説明の際に工夫して伝えるようにしていきたい。

- ・現在、御幸森小学校では、体操服長袖シャツはないが、今回の貸与物品には入ってくるのか。必要だという判断になったのか。
→貸与は行い、実際の着用のあり方については学校で検討することを想定している。議事資料4のP.3に記載の一覧の物品を貸与する。
- ・体操服長袖シャツは今までなかったものなので、必要性に疑問がある。その分の費用を通学帽に回してもよいのではないか。
- ・予算は3万円程度までとなっているが、体操服長袖シャツがあるかないかで変わってくるか。
→今日、ご意見をいただき、体操服長袖シャツが不要ということであれば、除くこともできる。
- ・体操服長袖シャツについては、体調が悪い時に着るという想定のようなのだが、そもそも、体調が悪いときには体操服自体を着ないのではないか。中に着るものや上着で調整するのが現実的ではないか。
- ・6月29日の保護者の意見交換では、御幸森小学校ではトレーナーを着用しているという話について、中川小学校の保護者からもその方式が良いという意見が出ていた。
→6月29日の意見交換では、体操服長袖シャツは、もし貸与できるのであれば入れるとなっていた認識であった。基本的には、体操服長袖シャツは含めず、その他の貸与物品をより良いものに整備することに充てていくとするという形で事業者を募集するということがよいか。
→体操服長袖シャツは貸与物品のリストから削除する。
- ・プレゼンテーションについては、検討会議の場で行わず、保護者で進めてもらった方が良いのではないか。
→別途、日程調整のうえ、保護者が集まる場を設けプレゼンテーションを行い、その結果は検討会議で報告することとする。
- ・各学校にて見本品を展示する予定だが、学校としては受け入れに問題はないのか。新型コロナウイルス感染症対策も行うなかで、いつ誰が見に来るかかわからない状態に対応できるのか。

(柿野中川小学校長)

- ・見に来る方が保護者中心になるので、展示自体は問題ないと考えている。しかし、展示期間が短ければ、来校者が集中し、密になる恐れがあるので、PTAとも相談させていただき、どちらの学校に見に行くことも可能とする等、柔軟な対応を行いたい。
- ・見本品を見た保護者が答えるアンケートも準備するのか。
→保護者からもアンケートいただくことを予定している。展示方法等はあくまで予定であり、新型コロナウイルス感染症の拡大状況もふまえ、学校での展示が難しければ区役所で展示する等、柔軟に対応していきたい。

【その他】

- ・当初の説明では、ユネスコスクールを新校でも継続したいとなっていたが、そのとおり実現する見込みか。
→大池小学校もユネスコスクールの認定を受けられるよう、御幸森小学校の実践内容につ

いて、中川小学校と共通理解を図り、持続可能なものとしていきたい。

しかしながら、世界的にユネスコスクールの認定校が偏在していることもあり、日本のユネスコスクール事務局が加盟申請の手続きを停止していることが判明した。教育委員会事務局としては、スムーズな申請を行えるよう、支援していきたい。

(高尾御幸森小学校)

- ・昨年、ユネスコスクール事務局に現在の学校の状況を説明し、加盟を維持できないか打診したことがあったが、ユネスコスクール同士の再編でなければ、新たな加盟申請が必要であるということであった。
- ・再申請の際には、1～2年のテスト期間を経る等の条件があるなかで、舍利寺小学校も含めた第2次再編の状況がどうなるか確定しておらず、小中一貫校となった際に小学校のみの申請とするか等の整理も必要になってくる。再申請に向け、今の段階で、ある程度の形や方向性は決められるかもしれないが、再申請自体を今行うことは妥当であるのか、関係校と十分に相談のうえ、進めていきたい。
- ・ユネスコスクールの肩書は重たいものだが、子どもに帰っていく実践を重要視するべきと考えている。
- ・教員配置については、当初、御幸森小学校から1/3、中川小学校から1/3、その他の学校から1/3の教員により構成すると聞いた。それを両校に現在在籍する教員の1/2ずつと、その他の学校から1/3の人数の教員とする形はできないか。知っている教員がいると子どもにとっても安心だと思う。

→より多くの両校の教員に引き続き関わってほしいという趣旨は理解させていただいた。

ご意見をふまえ、教育委員会事務局教職人事担当、各学校と連携して教員配置を詰めていく。

- ・子どもたちがそれまでに関係を持ち、コミュニケーションをとれた教員がいた方が、新たな学校になった初動も有利ではないか。子どものことでわからないことがあっても、これまでにその子を知っている教員が他の教員に説明し、フォローすることができる。
- 子どもたちの心理的負担もふまえたご意見かと認識している。児童の心理的負担の軽減のため、教員同士も含めて事前の交流に取り組んでいきたい。それぞれの子どもについて教員が理解し、子どもたちも教員を理解することで、負担を軽減していきたい。
- ・御幸森小学校の少人数学級は魅力的だと思うので、大池小学校になっても少人数の学級編成となればよいと思う。1学級20人編成とすることはできないか。

→学級の人数は法律で決められている。ルールのなかで、できる範囲のことを考えていくことになる。

一方で、学校再編については、子どもたちがより多様な考えに出会い、互いに切磋琢磨する環境とするためなど、子どもたちの教育環境改善のために行っていくことは待ったなしの状況であることもご理解いただいているものと思っている。

質問の趣旨は、どうすれば現在の御幸森小学校の少人数学級の良さを継承できるのか、ということに通ずる話であると考え。校長のマネジメントのもと、加配する人員を活かして習熟度別少人数授業を行うなど、少人数で見ることの方が良い場合に対応していただけるようにしていきたい。特に来年度は4年生が1学級あたり37人になる見込み

で大人数の学級になるが、そのままで成り立つのか、より小規模の活動の場面を増やした方が良いのかについては、子どもの実態に応じて対応していただく。

- ・御幸森小学校の保護者にとっては、少人数学級に不安がなく、人数が増えることに不安があるので、配慮をいただけるのはありがたい。
- ・地域としては、多文化共生のまちづくりという面でも、ユネスコスクール、国際クラブの存在は重要だ。厳しい状況はわかるが、地域としても様々な意見があるなかで、通常の再編以上の努力をするという話があったので、テーブルにのったし、これまでの実践もあるので、通常の再編とは違う、特別なビジョンをもち、これからの教育の最先端として課題をクリアしていく姿を見せてほしい。
- ・地域としては新たな学校でもユネスコスクールが継続されると思っていた。検討会議委員は保護者や地域に会議の内容を説明する責任があるので、こちらから聞かないと伝えないということでは困る。今回、初めて課題があるという話がでたが、地域にも説明を行っていかなければならない。

(3) 確認事項等

- ・新たな学校の校章については、今回の検討会議で提示した5案により、7月中に児童へのアンケートを実施し、その結果を次回の検討会議にて提示する。
- ・新たな学校の校歌については、作曲を柿野中川小学校長が行い、歌詞については、今回の検討会議で提示した募集条件により、区役所ホームページにて公募を行う。次回の検討会議にて、応募された歌詞の絞り込みを行う。
- ・新たな学校の標準服については、今回の検討会議で提示した仕様及び提案事業者への説明会における補足説明のうち、貸与物品から体操服長袖シャツを除いた形で提案事業者を募集する。9月に、各学校に標準服のサンプルを展示し、児童へのアンケートを実施する。アンケート結果については、検討会議にて提示する。

6 会議資料

- ・御幸森小学校・中川小学校 学校適正配置検討会議（第2回）次第
- ・議事資料1 通学路及び通学路の安全対策について
- ・議事資料2 校章について
- ・議事資料3 校歌について
- ・議事資料4 標準服について